

つみきのくらし

NO.7

日々の暮らしの中で、こどもも園つみきとして大切にしたいことや、こどもの素敵な姿をお伝えしていきます。

井鳥 佳織



生

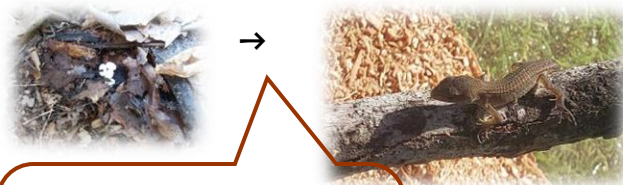
生きるためには、食べる。食べることは植物や生き物の命をいただくこと。

自分たちが育てた野菜を食べたり、昆虫が昆虫を食べたり。暮らしの中でそういう場面に触れることで人として大切なものを感じていきます。



畑で採れたもぎたてキュウリを、塩こんぶで和えたり、塩もみしておやつのように食べました。おいしくて手が止まらない子続出！枝豆も子ども達の前でゆでて、香りから味まで堪能しました。

前号の『つみきのくらし』の中で、『僕たちは自然と共に生きている』というテーマをお伝えしました。私たちが生きていく上で、自然との関わりは切っても切れない不可欠な存在であることに間違いありません。その中で、私たちと同じ命を授かっているものとして、植物や昆虫などの生き物との関わりは、とても大切だと考えています。



ぱんだ組のカナヘビの卵が2つともふ化しました！さすが、真矢先生！蜘蛛やハエを主に食しています。ぱんだ組は、虫狩りが得意技になるかも！？

カブトムシは、ゼリーを食べると思いますよね・・・樹液がごちそうだと図鑑に教えてもらいます。



癒

くらしの中に、緑がある。子どももおとなも視覚的な癒し、気持ちの落ち着きを得ることができます。

そして、植物を大切にする気持ち。保育者が大切に扱う後ろ姿をしっかり子ども達は見ています。

畑のカボチャやサツマイモが大きくなってきました。秋が近づいてきましたね。小径のミントや赤シソも生き生き育っています。ミントの葉をつぶすと爽やかな香り！とを感じる人臭い！とを感じる人（笑）人それぞれ。



かき氷屋を開店しました。ちいさい人もおきい人もおとなも幸せな気持ちをほっこり共有中。



「日陰」「くつろぐ場所」が欲しいね、という声から、ワークショップで小径に『お休み処』を作りました！子ども達は『お家・お店』というイメージ、おとなは『海の家・なにか懐かしい』というイメージを持ったようです。

ここは、ホッとできるスペースであり、時には楽しいお店になるなど、オールマイティーな癒し空間であり続けていきたいです。